

(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社

おねがい――

その足跡をふり返つて

三月二十九日の知事選告示にはじまつて四月八日の道議選告示、つづいて二十一日の町長・町議選告示、二十三日には知事・道議選の投票、三十日は町長・町議選の投票という具合に一ヵ月余にわたつてくりひろげられた、四年に一度の地方選挙の「台風」は去り、これからは『新選良』の手による道政、町政の行方に対して大きな関心がもたれるべきだが、選挙のときだけは競馬の勝敗を眺めるように夢中になつていて、そのあとは知らん顔といった主権者もすくなくないようだが、それでは困るという意味で、この「台風」の足跡をふり返つてみよう。

三町の結束で岡崎氏三位へ

選 議 道

○：本別 尼寄、一票が流れていく。自民党の三町から只一人の立起者岡崎光三氏の当落を左右するのは地元三町の得票いかんと

○：陸別では予定の千五百一票が流れていく。自民党公認の立割七分強は二大政党内では準孝町態勢の票あつめをしたといえよう。

○：本別では総得票の四割を超える千六百八十七票で四割六分強の得票。いくら隣町のよしみとはいへ、総得票の四割以上の協力を得ることは容易ではない。

病身を云々され、矢野氏勝つ

○：足寄では有割投票七千八百六十八の七割七分強を獲得して六千八百七十七票となつてゐるが、社会党、共産党、地区労などが渡部勇雄氏へ八百六十一票、朝日昇氏へ四百二十二票、堀田毅氏へ二百二十一票その他二百八十七票の計千七百九十

町長選

○本別の町長選といつた大きな失敗もなかつたに十八名の前議員のうち選挙を通じて小池氏支の持にまわつたのは二名ほどだつたのをみても判るとおり、この四年の町政ぶりに魅力をもたせるほどのものがなかつたのか。

○：スベリ出では後援会

高橋氏千稟齋

○：足寄の町長選は、現職の川上貞通氏が三選を目指すのに對して町議會議長の高橋安藏氏がこれを阻もうとして一騎討ちとなつたが結果として高橋氏は四千九百九十八票、川上氏は三千九百五十五票と大きくひいて高橋氏の勝利となつた。○：この勝敗の理由を分析してみると

一、四年前に川上氏が立会人を入れて高橋氏に對して「次期は君の責任者となつて応援するから今期

は断念してほしい」と約束しておいてそれを破つて出馬したことに對する道義的な非難が一部にあつたこと

二、そのために前回川上氏を支持した人々のうちも離れた人のあること

三、八年間町長の座にあつて大きな仕事を完成したことに對する心理的影響

四、三年がかりの中間駅間



▽：選挙も大切だが、選挙後の町政の在り方がさらに重要だという見地から、三町唯一の郷土紙としての本

が、最後の瞬間までこのたびの町長選はやや泥試合の感を呈していたものだ。

主筆の室

皆様に深く信頼と御引立を願つて居ります
当店では
桜の花にさきがけて
春物衣料を豊富にそして美事に
陳列いたしました
御花見用衣料・春の衣料品は是非とも当店と御
きめの上御来店を心から御待ち申上げて居ります

株式会社  前田吳服店

足寄駅前 T 二

観光のシーズン来る、皆様お揃いで
旧館は湯治客専用開放！
一泊(素泊り)180円で奉仕
 北海道立衛生研究所分析
 浴用 { リウマチ・神経痛・糖尿病・婦人病
 その他皮膚病一切
 飲用 { 痔疾・慢性便秘・糖尿病その他
 —(泉温43度)—
 —帯広・足寄よりバスの便あり—
 日本ユースホステル(青年の家)指定
 足寄町茂足寄 国民宿舎指定申請中

春の新柄・新形衣料品と大量品
実用作業衣・アサヒ沓地下足袋揃い

春衣・実用作業衣の御用命は

信用第一・品質本位の

足寄久保吳服店へ

T
三
六
〇
番